

基本的医療手技Ⅱ

ナンバリング	M3-S1-H02
--------	-----------

責任者・コーディネーター		医学教育学分野 高田 亮 教授、臨床実習部会長、OSCE委員長			
担当講座・学科（分野）		医学教育学分野 【連絡担当教員】 呼吸器内科分野、消化器内科分野、心臓血管外科学講座、皮膚科学講座、神経精神科学講座、病理診断学講座、脳神経内科・老年科分野、糖尿病・代謝・内分泌内科分野、外科学講座、整形外科科学講座、泌尿器科学講座、放射線医学講座、総合診療医学講座、臨床腫瘍学講座、リハビリテーション医学講座、循環器内科分野、リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野、麻酔学講座、血液腫瘍内科分野、脳神経外科学講座、呼吸器外科学講座、形成外科学講座、産婦人科学講座、耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座、眼科学講座、臨床検査医学・感染症学講座、救急・災害医学講座、小児科学講座、腎・高血圧内科分野			
担当教員		高田 亮 教授、相澤 純 特任講師、各診療科指導医 【連絡担当教員】 川田 一郎 教授、柿坂 啓介 准教授、小泉 淳一 准教授、渡部 大輔 准教授、福本 健太郎 准教授、刑部 光正 准教授、工藤 雅子 講師、武部 典子 講師、馬場 誠朗 講師、佐藤 光太郎 講師、兼平 貢 講師、田村 明生 講師、米田 真也 講師、遠藤 史隆 講師、西山 一成 講師、肥田 頼彦 講師、駒ヶ嶺 正嗣 特任講師、相澤 純 特任講師、岡野 良昭 助教、藤本 健太郎 助教、兼古 由香 助教、小野寺 文 助教、羽場 巖 助教、阿部 俊彦 助教、西田 泰典 助教、七崎 之利 助教、佐藤 正幸 助教、千田 悠太郎 助教(任期付)、岡本 好生 専門研修医			
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間計算)	講義	0コマ	0.0時間
期間	前期		演習	0コマ	0.0時間
			実習	20コマ	40.0時間

・学習方針（講義概要等）

医師という職業は、知識があることを求められているのではなく、目の前にいる患者さんの問題を解決するために知識を活用できることを求められる職業である。さらに、問題解決のためには医行為を正確に、安全に行えることが必須となる。令和5年度からは医師法改正に伴い、Student Doctorの立ち位置が明確になり、指導医の監視の下、患者さんに対し医療手技を行うことが法的に認められることとなった。患者さんに医療手技を行うにあたっては、事前の十分なトレーニングと医療プロフェッショナルとしての行動・態度が求められている。本科目においては、これまでの学びで得た知識を融合しながら、基本的な医療手技の修得を目指すとともに、これからの学びで必要なことを考える。
--

・教育成果（アウトカム）

客観的臨床能力試験（OSCE）に即した実践的な実習を行うことで、医師としてプロフェッショナルな態度で、3学年時で修得しておくべきレベルの基本的医療手技ができるようになる。
(ディプロマ・ポリシー： 2,3,4,5,6)

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	3学年時で修得しておくべきレベルの基本的医療手技ができるようになる。
2	医師としてのプロフェッショナルな態度で行動ができる。
3	同級生と協力して実習を行い、良好なコミュニケーションをとることができる。
4	自分の技能を自分で正しく評価できる。

・ 講義場所

配属先の教員が指定する場所

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
実習	6/30(月)	1	医学教育学分野 医学教育学分野	高田 亮 教授 相澤 純 特任講師	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	6/30(月)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	6/30(月)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	6/30(月)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/1(火)	1		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/1(火)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/1(火)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/1(火)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/2(水)	1		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/2(水)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/2(水)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/2(水)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/3(木)	1		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/3(木)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/3(木)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/3(木)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/4(金)	1		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/4(金)	2		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/4(金)	3		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4
実習	7/4(金)	4		各診療科指導医	基本的医療手技実習	1,2,3,4

・ 教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	診療参加型臨床実習に必要とされる技能と態度についての学修・評価項目（1.0版）	医療系大学間共用試験実施評価機構	左記ホームページ内医学系OSCE公開資料より入手	
参考書	診療ができるVol.1 身体診察		MEDIC MEDIA	2023
参考書	医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版	モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会	文部科学省ホームページより入手	2022

・成績評価方法

【総括評価】

医療面接については、臨床実習前OSCEに準じて、評価員による実技の評価を行う。各手技について、技能と態度についての到達基準を設定し、到達基準に達しているかを評価員が評価する。評価は1人ずつ行い、模擬患者は2年生の学生が務める。

その他の各基本的医療手技についても、評価員による実技の評価を行う。各手技について、技能と態度についての到達基準を設定し、到達基準に達しているかを評価員が評価する。学生は数人1組で事前にトレーニングを行い、評価はその内の1人のみが行ってその結果を全員分の評価とする。評価される学生は、評価直前にランダムな方法によって選出する。

手技毎に100点満点に換算して60点以上を合格とする。

合格に満たなかった手技については、別途再評価を行う。この際の評価方法も上記と同様に行う。

なお、欠席した学生については、正当な事由で欠席届が提出された場合のみ、個別に別途評価をおこなう。それ以外の場合は評価を行わない。

・特記事項・その他

実技実習の前に与えられた課題（ビデオ視聴）を必ず行うこと（予習時間目安：60分）。

実技実習での手技のポイントをノートにまとめておくこと（復習時間目安：60分）。

講義資料はWebclassで配信する。

当該科目に関連する実務経験の有無 有

大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・教育資源

講義室、実習室、インターネット環境、シミュレーター

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			